

## 平成 18 年度事業計画

本学会の目的達成のため、定款に定められた次の各事項の事業を行う。

## 1. 研究発表会および学術講演会の開催（定款第 5 条一号）

## 1) 研究発表会

- a) 大会：平成 18 年 3 月 29 日(水)～4 月 2 日(日)，於高知大学朝倉キャンパス（高知県高知市）  
大会委員長 伊藤慶明  
研究発表 口頭 823 題，ポスター 129 題 計 952 題  
シンポジウム 6 件 演題 62 題，ミニシンポジウム 3 件 演題 17 題  
平成 17 年度日本水産学会賞受賞者講演 13 題

## 2) シンポジウム

大会開催時（平成 18 年 3 月 29 日・4 月 2 日，於高知大学朝倉キャンパス）

- a) 「水産学と日本水産学会の未来 Part-I」（主催：理事会）演題 7 題  
企画責任者：塚本勝巳
- b) 「音響資源調査の新技术—計量ソナー研究の現状と展望—」演題 9 題  
企画責任者：飯田浩二・古澤昌彦・濱野 明・高尾芳三・伊藤智幸・稲田博史
- c) 「海洋深層水の特性と利用」演題 13 題  
企画責任者：川合研児・伊藤慶明・高橋正征・深見公雄・藤田大介
- d) 「水生動物の行動と漁具の運動解析におけるテレメトリー手法の現状と展望」演題 12 題  
企画責任者：山根 猛・光永 靖・河邊 玲・佐藤克文・赤松友成・荒井修亮・山本勝太郎
- e) 「モデル水産植物の現状と課題」演題 11 題  
企画責任者：伏谷伸宏・嵯峨直恆・北出幸広・谷口和也・天野秀臣・堀 貫治
- f) 「貝毒問題を巡る近年の研究の展望」演題 10 題（主催：水産環境保全委員会）  
企画責任者：今井一郎・福代康夫・広石伸互

## 3) ミニシンポジウム

大会開催時（平成 18 年 3 月 29 日，於高知大学朝倉キャンパス）

- a) 「ゴーストフィッシング研究の現状と方向性」演題 6 題  
企画責任者：渡部俊広・松岡達郎・兼広春之・秋山清二・稲田博史
- b) 「クロマグロの初期発生と種苗生産—現状と展望—」演題 6 題  
企画責任者：熊井英水・坂本 亘・細川秀毅
- c) 「魚類の発生工学の現状と展望」演題 5 題  
企画責任者：山羽悦郎・吉崎悟朗・荒井克俊

## 4) 各支部の活動

## a) 北海道支部

- ①支部大会，平成 18 年 12 月（2 日間），於北海道大学学術交流会館（北海道札幌市）

## b) 東北支部

- ①支部大会 平成 18 年 11 月
- ②支部例会 平成 19 年 2 月
- ③支部会報第 57 号の発行

## c) 関東支部

- ①支部大会 シンポジウム，研究発表，平成 18 年 10 月 8 日
- ②若手研究者の育成プログラムの立案と実施
- ③研究者ネットワークの構築

## d) 中部支部

- ①第 1 回支部大会 平成 18 年 7 月中旬
- ②第 2 回支部大会 平成 18 年 12 月中旬

## e) 近畿支部

- ①前期例会

シンポジウム「持続的養殖生産確保法施行後における養殖漁業の管理と将来展望（仮題）」演題 8 題  
平成 18 年 7 月 1 日，於和歌山県農林水産技術センター水産試験場養殖研究所（和歌山県串本市）

②後期例会

研究発表，平成 18 年 12 月 2 日

f) 中国・四国支部

①平成 18・19 年度事務局の交代，広島大学に事務局を設置

②支部大会 シンポジウム，研究発表

③平成 18 年度日本水産学会大会

平成 18 年 3 月 29 日～4 月 2 日，於高知大学朝倉キャンパス

g) 九州支部

①支部例会 シンポジウム

②支部大会 研究発表 於宮崎大学（宮崎県宮崎市）

5) 委員会の活動

a) 漁業懇話会委員会

①第 51 回講演会「21 世紀における国際学術交流」演題 10 題，平成 18 年 3 月 29 日，  
於高知大学朝倉キャンパス

b) 水産利用懇話会委員会

①第 1 回講演会

②第 2 回講演会

c) 水産増殖懇話会委員会

①第 1 回講演会

②第 2 回講演会

d) 水産環境保全委員会

①シンポジウム「貝毒問題を巡る近年の研究の展望」演題 10 題，平成 18 年 3 月 29 日，  
於高知大学朝倉キャンパス

②研究会 1 回

③沿岸環境関連学会連絡協議会ジョイントシンポジウム 1 回

e) その他

2. 学会誌および学術図書の刊行（定款第 5 条二号）

1) 学会誌

a) 日本水産学会誌第 72 巻 2 号～第 73 巻 1 号まで計 6 冊 [報文 70 編，総説，企画記事，会告，会報等，総ページ約 1,200 ページ（各号 4,700 部発行）]

b) Fisheries Science 第 72 巻 2 号～第 73 巻 1 号まで計 6 冊 [報文 185 編，総説等，総ページ約 1,500 ページ（各号 5,100 部発行）]

2) 水産学シリーズ

第 151 号から第 154 号まで 4 冊，各号 1,000 部発行予定

3) ベルソーブックス

024 から 027 まで 4 冊，各号 2,000 部発行予定

3. 関連学会等との連絡および協力（定款第 5 条三号）

1) 共催

a) 第 43 回理工学における同位元素・放射線研究発表会

主催 日本アイソトープ協会，共催 応用物理学会，他 60 学協会  
平成 18 年 7 月 6 日，於日本青年館（東京都新宿区）

b) その他

2) 協賛

a) 第 17 回ハイドロコロイドシンポジウム

主催 食品ハイドロコロイド研究会, 協賛 化学工学会, 他 27 学協会  
平成 18 年 5 月 18 日, 於東京総評会館 (東京都千代田区)

b) 第 52 回低温生物工学会セミナー

主催 低温生物工学会, 協賛 日本測定学会, 他 12 学協会  
平成 18 年 5 月 26 日, 於九州大学箱崎キャンパス国際ホール (福岡県福岡市)

c) 第 9 回マリンバイオテクノロジー学会大会

主催 マリンバイオテクノロジー学会, 協賛 日本農芸化学会, 他 12 学協会  
平成 18 年 5 月 27 日・28 日, 於東京海洋大学品川キャンパス (東京都港区)

d) テクノオーシャン 2006/第 19 回海洋工学シンポジウム

主催 テクノオーシャン・ネットワーク, 他 3 団体, 協賛 日本水環境学会, 他  
平成 18 年 10 月 18 日～20 日, 於神戸国際展示場 (兵庫県神戸市)

e) その他

3) 後援

a) 第 3 回エアロ・アクアバイオメカニズムシンポジウム (JSABMEC)

主催 日本エアロ・アクアバイオメカニズム研究会, 他 3 大学, 後援 日本機械学会, 他 9 団体  
平成 18 年 7 月 3 日～7 日, 於沖縄コンベンションセンター (沖縄県宜野湾市)

b) その他

4) 第 5 回世界水産学会議開催の協力

主催 世界水産学協議会, 日本水産学会, 水産総合研究センター  
平成 20 年 10 月 20 日～24 日, 於パシフィコ横浜 (神奈川県横浜市)

5) 日本学術会議への協力

6) 日本農学会への協力

7) 勲農学会への協力

8) 学術の共同研究, 情報の交換

9) 海外との学術交流

a) アメリカ水産学会との交流

b) 世界水産学協議会との協力

c) 文献交換の斡旋

d) 外国人研究者との交流

e) その他

4. 研究業績の表彰 (定款第 5 条四号)

1) 日本水産学会における賞の授与

a) 日本水産学会賞 2 件以内

b) 日本水産学会功績賞 2 件以内

c) 水産学進歩賞 4 件以内

d) 水産学奨励賞 4 件以内

e) 水産学技術賞 3 件以内

2) 日本水産学会論文賞の授与 10 件以内

3) 他の学術関係の賞等に対する候補者の推薦

5. その他目的を達成するために必要な事業 (定款第 5 条五号)

会議の開催

1) 通常総会 1 回, 平成 18 年 3 月 31 日, 於高知大学朝倉キャンパス

2) 評議員会 1 回, 平成 19 年 3 月, 於東京海洋大学品川キャンパス

3) 理事会

4) 編集委員会

5) 企画広報委員会

- 6) 学会賞選考委員会
- 7) シンポジウム企画委員会
- 8) 出版委員会
- 9) 水産環境保全委員会
- 10) 漁業懇話会委員会
- 11) 水産利用懇話会委員会
- 12) 水産増殖懇話会委員会
- 13) 国際交流委員会
- 14) 選挙管理委員会
- 15) 水産学教育推進委員会
- 16) 各支部における総会・支部評議員会等
- 17) その他